令和6年第4回秩父別町議会定例会会議録 目次

令和6年12月11日(水)

日程	議案番号	議 件 名	頁
1		会議録署名議員の指名	1
2		会期の決定	1
3		諸般の報告	1
4		行政報告	2
5		所管事務調査の報告(総務経済常任委員会・広報公聴常任委員会)	5
6		議会改革活性化特別委員会中間報告	5
7		一般質問	6
8	承認第 3号	専決処分の承認を求めることについて [令和6年度秩父別町一般会計補正予算(第6号)について]	22
9	議案第52号	秩父別町コミュニティプラザ設置及び管理運営に関する条例の設定について	23
10	議案第53号	秩父別町コミュニティプラザの指定管理者の指定について	29
11	議案第54号	秩父別町生涯学習センターの指定管理者の指定について	30
12	議案第55号	秩父別町パークゴルフ場の指定管理者の指定について	31
13	議案第56号	工事請負契約の変更について (秩父別町地域マイクログリッド構築事業第2期工事)	32
14	議案第57号	令和6年度秩父別町一般会計補正予算(第7号)について	35
15	議案第58号	令和6年度秩父別町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	41
16	議案第59号	令和6年度秩父別町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	42
17	議案第60号	秩父別町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の設定について	43
18	議案第61号	秩父別町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の設定について	43
19	議案第62号	秩父別町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の設定について	43
20	議案第63号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の設定について	43
21	議案第64号	令和6年度秩父別町一般会計補正予算(第8号)について	44
22	議案第65号	令和6年度秩父別町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	45
23	議案第66号	令和6年度秩父別町農業集落排水事業会計補正予算(第1号)について	46

24	議案第 67 号	令和 6 年度秩父別町簡易水道事業会計補正予算（第 1 号）について	47
25	発議第 2 号	秩父別町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の設定について	47
26		所管事務調査の申し出について （広報公聴常任委員会・議会運営委員会）	48

令和6年第4回秩父別町議会定例会会議録

開催年月日 令和6年12月11日（水曜日）
開催場所 秩父別町議会議場
開催時刻 午前10時00分

出席議員（9名）

9番	大野	敬	君	8番	藤岡	浩文	君
1番	松永	徹	君	2番	金子	利生	君
3番	眞島	秀樹	君	4番	岡崎	稔	君
5番	中西	伴浩	君	6番	寺迫	公裕	君
7番	早川	正剛	君				

欠席議員（なし）

出席説明員

町長	澁谷	信人	君	副町長	竹内	剛	君
教育長	早川	聡	君	総務課長	中野	慎司	君
建設課長	宮武	幸充	君	会計管理者	内山	潔	君
産業課長	笹木	雄介	君	住民課長	塩地	勇夫	君
企画課長	北垣	慎二	君	教育次長	大山	達美	君
農委事務局長	宮本	幹夫	君	農委会長	吉田	光博	君
代表監査委員	藤岡	和正	君				

欠席説明員（なし）

出席職員

事務局長	成瀬義弘君
書記	北俊紀君

議事日程及び議件

別紙議案のとおり

会議録署名議員

1番	松永徹君
2番	金子利生君

議 事 の 経 過

(開会宣言)

議 長（大野君）

これより、令和6年第4回秩父別町議会定例会を開会いたします。

これより、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

(日程第1 会議録署名議員の指名)

議 長（大野君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。本定例会の会議録署名議員は、会議規則第117条の規定により、1番 松永徹議員、2番 金子利生議員を指名いたします。

(日程第2 会期の決定)

議 長（大野君）

日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。今期定例会の会期は、本日から12月12日までの2日間にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（異議なしの声）

ご異議ないものと認めます。

よって、会期は本日から12月12日までの2日間に決定いたしました。

(日程第3 諸般の報告)

議 長（大野君）

日程第3、諸般の報告を事務局長にさせます。

事務局長（成瀬君）

諸般の報告をいたします。今期定例会に町長から付議されました事件は、承認第3号の1件、議案第52号から第67号までの16件でございます。

次に、発議が1件ございます。

また、議長からの付議事件として、所管事務調査の申し出についてがございませう。

なお、監査委員から10月、11月、12月に実施いたしました例月出納検査及び11月に実施いたしました令和6年度定期監査の結果が提出されております。写しをお手元に配付しておりますので、朗読を省略いたします。以上でございます。

議長（大野君）

次に、私からの報告ですが、お手元に配付のとおりです。以上で、諸般の報告を終わります。

（日程第4 行政報告）

議長（大野君）

日程第4、町長から行政報告があります。町長。

町長（澁谷君）

本日、第4回町議会定例会を招集いたしましたところ、師走を迎え何かとお忙しい中、全議員のご出席をいただきまして、誠に有難うございます。

9月11日の第3回町議会定例会以後の行政執行の主要な事項について申し上げます。

始めに、職員の新規採用について申し上げます。

令和7年1月1日付で一般事務職1名を採用いたします。

採用者は、北見市出身で、平成28年3月に藤女子大学人間生活学部人間生活学科を卒業され、この秋まで北海道農業公社にお勤めでありました滝千春さん、31歳であります。

本年11月末に実施した職員採用試験を優秀な成績で合格した方であり、大いにご期待申し上げます。

次に、寄附の採納について申し上げます。

9月13日、石狩市にお住まいの千葉憲昭様から2条2丁目、中央西町内の土地、宅地ですが、336.38㎡を今後の町づくりに役立ててほしいとのご寄附の申し出がございました。

町といたしましては、有難く採納させていただきまして、今後の町政に有効に活用させていただきます。

なお、千葉様におかれましては、9月26日にお亡くなりになりまして、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

次に、農作物の出荷状況及び令和7年産米の生産の目安についてご報告申し上げます。

今年の水稲につきましては、農家の皆様方の適切な肥培管理とともに、登熟に適した気温と降雨に加え、日照も確保されたことから、生育は順調に推移いたしました。

北空知地区の作況指数は103のやや良となるなど、収量も平年並み以上で、品質は一部に胴割れ粒が見られたものの概ね良好であり、豊穰の出来秋を迎えることができましたことは、町といたしましても、誠に喜ばしい結果となりました。

北いぶき農業協同組合における水稲の取扱製品数量は18万7,194俵で、10a当たりの収量は576kgでありました。

次に、秋播小麦は、概ね天候に恵まれましたが、病気などの発生によって収量が低下し、10a当たり372kgとなっております。

そばにつきましては、7月下旬から8月下旬にかけての低温による結実不良や7月24日の大雨による被害などで、10a当たり36kgの収量にとどまりました。

花卉は、ダリアやシネンシスを中心に出荷されましたが、秩父別支部では、10月末現在1万6,735ケース、1億4,805万円の販売であります。

ブロッコリーは、夏場に黒すす病が発生したものの、単収は378kgと、昨年よりも良い結果となっております。

次に、令和7年産米の生産の目安についてご報告申し上げます。

農林水産省が10月30日に発表した米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針によりますと、令和7年産の主食用米等の需要見通しは、令和6年産と比べると約11万トン減の663万トンと推計をしております。

また、令和7年6月末の米の民間在庫量は162万トンと見込まれておりましたが、九州を中心とした令和6年産米の収穫量が低下したことで、民

間在庫量は 160 万トンを割り込む予想も出ておりました、過去最少の、今年に次ぐ低水準となることが危惧されているところであります。

このことから国では、現時点での主食用米の需給見通しを発表したものの、今後、米価の高騰が需要に影響を与えることが予想されることから、来年 1 月の最新の需給動向などを踏まえ、見通しを再検討することとしております。

北海道では、この需給予測を受けた後に、北海道農業再生協議会水田部会が、産地の意向を確認した上で、道内全体と市町村別の生産量や作付面積の目安を示すこととしておりますが、状況によってはその発表が例年よりも遅れることが予想されるところであります。

これまで農業資機材や燃料の価格上昇によって厳しい経営を余儀なくされた農業者の方々にとっては、今後も米価の適正な価格が維持されることを期待するとともに、来年も天候に恵まれ、豊穰の年となることを心からお祈り申し上げます。

最後に、建設工事の入札結果についてご報告申し上げます。

9 月 17 日に執行いたしました入札結果について申し上げます。

始めに、6 号橋補修工事で、町道中山北路線の秩父別川に架かる橋梁において、長寿命化計画に基づき、防水、断面修復、防護柵の補修等を行い、道路施設の保全を図るものであります。

落札者は興和建设株式会社、落札額は税込み 1,507 万円、落札率は 97.37%、工期は 9 月 19 日から 1 月 31 日までとしております。

次に、町道市街 12 号路線側溝整備工事で、北いぶき農業協同組合資材店舗付近北側の道路側溝 68m の区間において、函渠の埋設、集水升工、舗装工等を行い、路線歩行者等の安全の向上を図るものであります。

落札者は興和建设株式会社、落札額は税込み 638 万円、落札率は 96.67%、工期は 9 月 19 日から 11 月 29 日までとしておりました、既に工事を終了しております。

以上申し上げます、行政報告とさせていただきます。

議 長（大野君）

以上で行政報告を終わります。

(日程第5 所管事務調査の報告)

議 長 (大野君)

日程第5、所管事務調査の報告をします。岡崎総務経済常任委員会委員長の報告を求めます。

委 員 長 (岡崎君)

別紙により報告

議 長 (大野君)

次に、眞島広報公聴常任委員会委員長の報告を求めます。

委 員 長 (眞島君)

別紙により報告

議 長 (大野君)

ただ今の報告に対して、何かご意見はございませんか。

(ありませんの声)

ご意見がないようですので、所管事務調査の報告は報告済みといたします。

(日程第6 議会改革活性化特別委員会中間報告)

議 長 (大野君)

日程第6、議会改革活性化特別委員会中間報告をします。金子議会改革活性化特別委員会委員長の報告を求めます。

委 員 長 (金子君)

別紙により報告

議 長 (大野君)

ただ今の中間報告に対し、何かご意見はございませんか。

(なしの声)

ご意見がないようですので、議会改革活性化特別委員会中間報告は報告済みといたします。

(日程第7 一般質問)

議長 (大野君)

日程第7、一般質問を行います。3番 眞島議員の発言を許します。
眞島議員。

3 番 (眞島君)

議長のお許しをいただきましたので、質問通告書に基づきまして、令和8年度以降の地域交通の展望について澁谷町長にご質問をさせていただきます。

商工会が入居する中央コミュニティ会館がまもなくリニューアルに向けて動き出し、予定されている年度内の完成が待ち遠しいところでございます。

完成すれば、本町の新たな顔になるとともに、令和8年3月に廃線となるJR留萌線の代替交通となるバスの重要な拠点としての役割を果たすものと期待しています。

しかしながら、代替交通の一つとして考えられている空知中央バス沼田線は、現在すでに運行が1日5便に限られている状況であり、バス業界が運転手不足に直面していることを考えると、JR廃線となる2年後にどのような運行体制が確保されるのか、特に高校進学を控える保護者や高齢者の方々が不安に感じております。

新しいコミュニティ施設にバス停機能を持たせることは承知しておりますが、そのバスの運行体制について、どのような方向性で構築すべきとお考えなのか、また、どのように進めていくとお考えなのか、バス会社の経営に関わる問題でもありますが、発信が難しい場合もあるかと思いますが、町民の不安を少しでも和らげるために、現時点においてお話いただける範囲で結構で構いませんので、町長のお考えをお伺いいたします。

議 長（大野君）

町長。

町 長（澁谷君）

眞島議員のご質問にお答えをさせていただきますが、J R 留萌本線の廃止に合意してから約2年が経過いたしまして、廃線まであと1年数ヶ月となったところでございます。

廃線合意後の令和4年9月に開催された第3回町議会におきましては、眞島議員から廃線に伴う今後の展望としてご質問いただいたところでありまして、「廃線を契機に皆さん方が住んでよかったと思える、よりよい交通体系を構築したい」というふうに申し述べたところでございます。

廃線に向けて協議を進めていた当時はですね、J R の運行時間帯に近い形でバスに転換して、同じくらいの便数を確保したいと考えているところでございます。

しかし、議員のご質問にありますとおり、昨今のバスの運転手不足に加えまして、労働基準法の改正に伴いまして、運転手の拘束時間ですとか、運転時間など厳格に規制されたことにより、路線バスの運行自体が非常に厳しい状況となっているのが現状であります。

本町を通過している路線バスは、空知中央バス、沿岸バス、道北バスの3社2路線で、どの会社におきましても、運転手不足は深刻でありまして、増便は困難であると回答をいただいております。

このような状況の中におきまして、J R 留萌本線廃線後に、既存のバス路線で賄うことができない、補うことができない、朝と晩の時間帯におきまして、協議を進めてまいりましたけれども、何とか受けていただけない事業者がようやく見つかりまして、調整を始めたところでございます。

今の段階でその内容をお示しすることはできませんけれども、考えとして、まず、日中の時間帯につきましては、今のバス路線、バスを維持することで対応したいと考えておりまして、それ以外の時間帯について、特に高校生の通学に配慮いたしまして、朝の便として、深川への高校への通学、さらには、滝川、旭川の高校へ通われる方は深川駅を乗り継ぎ、

これに支障をきたさない時間帯でのバスの運行、さらに、夜の便としては、18時以降、午後6時以降にですね、高校生が帰宅に使うバスの運行、これについて、朝晩それぞれ3便を確保できるよう、現在、JR北海道を含めた関係機関と調整をしているところであります。

今後、協議が進みまして、ある程度の方向性が見えてまいりましたら、住民の皆様方に何らかの形でお示しをしたいと考えておりますし、遅くとも今年度中には廃線後の、この地域公共交通のあり方について報告できるように作業を進めてまいりますので、ご理解いただきますようお願いを申し上げまして、お答えさせていただきます。

議 長（大野君）
眞島議員。

3 番（眞島君）

大変、これから検討していく中でのご質問でございます。

ご答弁、詳しいご答弁でしたけれども、本当に有難うございます。

JRの廃線まであと1年と3ヶ月少々になりましたけれども、現時点のバスの運行ですけれども、1日、私なりにバス停に行ってお調べをしてみましたけれども、中央バスにつきましては5便、沿岸バス、道北バスについては7便ですね。

それと、あとJRが7列車、往復で17便というふうに現在なっておりますけれども、実は私、昨日ですけれども、実際に留萌線の学生さん方の時間帯の列車にちょっと乗せさせていただきまして、高校生並びに一般通勤されている方のお話を若干聞かせていただきました。

そんな中で、高校生においては非常にはきはきとお答えをいただきまして、現時点のJRの運行体制で、バスが行っていただけるなら全然問題ありませんと、そのような軽いお返事もいただきました。

また、これは男子も女子もお聞きしましたけれども、女子高校生につきましては、何の問題もないですよとあっけらかんに答えていただきまして、今の時点の朝と晩の汽車の時間でバスが運行していただけるのであれば、何の支障もないし、歓迎しますというようなお話ではござい

すけれども、私なりにお話をお聞きしてまいりました。

また、一般の通勤の方にもちょっとお話を聞きますと、バスに転換になっても、全然問題はないと思いますけれども、通勤で他の例えば旭川、滝川、そちらの方に、乗り継ぎの汽車に乗る時に、時間の乗り継ぎ、バスとのかみ合いが上手くいければ全然、わがままですけれども、問題ないのじゃないかなと、そのようなこと、ちょっと昨今のバス会社の状況に、お願いすると無理なことかなと思いますけれども、昨日何人か、また乗務員の運転手の方にも色々とお話をさせていただきました。

そんな中で、バス転換に向けて、それぞれ学生さん、一般の方、あまり心配はしていないようですけれども、たまたま私、バス停の通勤の時間のバスに、汽車に乗らせていただきましたので、その前の、他の学校に通う朝早い生徒もおりましたけれども、その人方のお話は聞けませんでしたけれども、現状の時刻でバス等を走らせていただければ有難いなと。

そして、昨日の高校生の話でございますけれども、夜はどうなのかなというようなお話も聞きましたけれども、夜は部活が5時頃終わるということで、今の6時半頃の汽車で十分だよと。

8時の遅い便もありますけれども、そういうのは利用しているのかとお聞きしますと、何名かアルバイトされている方がおられるということで、そちらの方の人を考えたら、遅い時間帯のバスもあってもいいのかなと、そんなような雑談の中でもお話をさせていただきました。

非常に私、自分で思った以上に学生さん、一般の方は心配はしていないのかなと思いますけれども、これから明年度に向けて、バス会社、また他の地域の行政の関係もございます。

少しでも安心して通学できる、バスに代わっても通勤通学ができるような体制をご検討していただきたいなというふうに思っております。

本当にバス業界のドライバーの方も、非常に少ない状態と聞いてございますし、また、賃金の上昇ですか、それとバス業界の人件費、燃料費、これの高騰によって、非常に厳しい状態であると耳にしておりますが、これも近隣の行政の関係者の方とバス会社と協議を進めていただきまして、学生さん、通勤の方々の足に、これから心配のないようにご検討

いただきますことをお願い申しあげまして、再質問はいたしませんけれども、ご答弁はいりません。

今後ともよろしくお願い申し上げまして、私の質問を終わらせていただきます。

有難うございました。

議 長（大野君）

いいですか。以上で眞島議員の質問を終わります。

次に、4番 岡崎議員の発言を許します。 岡崎君。

4 番（岡崎君）

議長のお許しをいただきましたので、中学校跡地の利用につきまして、町長にご質問をさせていただきます。

私は令和4年3月の定例会において、「中学校跡地の利用について、早急に方向性を定めるべきだと思う。」と質問をさせていただきました。

その際、町長は3月いっぱい任期満了になるものですから、「任期終了が目前であるため、利用の方向性を定める必要は認めるが、次の町長の手元でできるだけ早く方向性を定めるべきだ。」とご答弁されました。

その後、昨年2月の選挙において、再度町長に当選されましたが、その任期も残り2年3ヶ月という形になってまいりまして、前回の答弁どおり、早い段階で跡地利用策の方向性を定める時期ではないかというふうに思うところでございます。

以前、深川市で操業している企業を視察したことがございますが、その企業を含めて、他の企業等から何らかの打診があるのか、現状をお聞かせいただきたいと思っております。

また、すでにご承知かもしれませんが、国土交通省は2025年に、民間資金活用による社会資本整備、いわゆるPFIの小規模版であるスモールコンセッション、SCというそうでございますけれども、その推進に向けて支援を強化する方針であると聞いております。

スモールコンセッションは、空き家や廃校などの小規模施設を対象とした、事業費10億円未満のPFIを想定するもので、その先行的な取り

組みを対象に補助金が設定される見込みでございます。

仮に民間企業に中学校跡地を利用させる方針である場合、こういった補助事業を活用することで、財政負担を軽減しつつ、有効な跡地利用ができるのではないかとこのように考えます。

町長には様々な方策をお持ちであると思いますが、現時点での跡地利用に関する考えをお伺いいたします。

よろしく願いいたします。

議 長（大野君）

町長。

町 長（澁谷君）

岡崎議員のご質問にお答えさせていただきますが、現在、令和8年4月の義務教育学校開校に向けて、施設の整備、学校の運営方法等について準備を進めているところでございますが、義務教育学校の開校後は、既存の中学校、これを閉校することになりますので、その跡地利用につきましても、方向性を決める必要があることは認識をしております。

町といたしましては、校舎の解体に多額の費用がかかるということから、何とか有効な方法につきまして、情報収集、検討を進めてまいったところであります。

現時点で、学校跡地の利用に関する状況につきましては、以前皆さん方の視察に伺った事業者から、その校舎を使いたいという相談をいただいているところであります。

町では、廃校舎の改修にコストをかけずに、全く金をかけずに活用いただきたいと考えておりました、現在、その事業者と今後の活用方法等について話を進めているところであります、現在のところ、他の事業者から提案を受ける状況にはないといったところでございます。

また、ご質問にありましたスモールコンセッションにつきましては、地方公共団体が所有する空き家、廃校舎等の遊休不動産につきまして、民間の創意工夫を最大限に生かして官民連携による事業運営を行うということで、地域課題の解決などについて価値向上につなげるといった目

的がございます。

官民連携による事業運営という点を考慮しますと、今取り組める事業、これが限られてまいりまして、今話を進めております廃校舎の利用につきましても、単なる製造業の誘致ということでございまして、スモールコンセッションの事業目的に合致しないというふうに考えております。

さらに、中学校の閉校後の活用につきましては、国会議員の先生方をはじめ、様々な機関に話を持ちかけましたけれども、なかなか色よい返事がない中で、現在は話を進めている企業に関心を持っていただいたことに加えまして、仲介いただいた機関に対しても、この信義則にのっとりまして、進めてまいりたいというふうに思っているところであります。

また、グラウンドについては、町の中心部に位置することもあり、移住定住のための宅地分譲地の造成も含めた中で、何か良い活用案がないか、庁舎内で検討を進めているところでございます。

既存の校舎の中学校舎については、市街地に存在することから、防犯上閉校後放置することなく、できるだけコストをかけずに、地域の振興に寄与できるよう活用してまいりますので、ご理解いただきたいと思っております。

よろしく願い申し上げます。

議 長（大野君）

岡崎議員。

4 番（岡崎君）

有難うございました。

何か、ある企業から廃校後の校舎を利用したいという申し出があるというふうに今解釈したわけでございますけれども、ただし、その場合にSCの対象にはならないというものがあるようでございますが、SCの対象にならなければ、いずれにしても、町のある程度の持ち出しであるとか、仮にどこかの業者の方が来られたとして、その方の負担がかなり多くなるのかなという気がいたします。

非常に残念なことなのですが、SCの考え方がそうである以上、

これはもうどうしようもないのかなという気がいたします。

それで、今町長の方からグラウンドというお話がございました。

宅地分譲を含めて検討していきたいということでございましたけれども、グラウンドにつきましてはですね、地域の住民の方々も、今、学校のあそこのグラウンドがなくなったら、子ども達のその運動の場所がどうなるのだろうかというところも心配される方もいらっしゃいます。

以前視察したところは、グラウンドに太陽光パネルを設置してというような形がございましたけれども、その新たに来ようとしている企業がそういうものを必要とするのかどうかというところも、今後必要な検討をする必要があると思いますけれども。

町長が以前お話になった、解体するにも非常にお金がかかる、それで一番いいのは、どこかの企業があそこの校舎を有効に利用してこられることが、一番町としても有利だろうというご提言をいただきましたけれども、私もそのとおりだと思います。

廃校後、間空けることなくですね、有効利用されるということがうちの町にとっても一番いいのじゃないかと。

あちこちに廃校になってですね、ただ校舎を維持するために、何にも利用されない残っている学校をところどころ見受けられますけれども、あんな状態には絶対なってほしくないなと。

すぐに有効利用されるような形を今後とも検討していただきたいというふうに思うところでございます。

企業へ貸し付けた場合には、これは町長当然お考えだと思いますけれども、いろんな課題が今後出てくるのじゃないかというふうに思います。

校舎あるいは体育館、それからグラウンド、これを全部一括して貸し付けるのか、売り渡すことにはならないと思いますけれども、貸し付けることになるのかということだとか、その貸し付けが無償なのか、あるいは有償なのか、これらも検討していく必要があると思いますし、今の既存のその校舎、これを貸し付けた場合に、校舎の維持管理、これはどうなるのか、屋上防水であるとか、外壁の塗装であるとか、あるいは体育館の屋根の塗装であるとか、いろんな形で今後校舎を維持していくためには、莫大な費用を要するのじゃないかなというふうに思うところで

ございます。

それらをどのように負担していくのかということも、最終的に業者が決まりましたら、そちらの方と協議する必要があるかと思えますけれども、その辺も今後大きな問題になってくるかなというふうに思うところでございます。

それと、先程申し上げましたとおり、そのグラウンド、これにつきましてもですね、グラウンドとして残すのか、それ以外の目的として利用するのか、これらも今後十分検討していただければというふうに思うところでございますけれども、いずれにしても、先程申し上げましたとおり、もうあと、あの学校が学校としての機能をなくすまでには、もう2年足らずでございます。

早急にですね、今後の方向性を定めていただければ、町民の方々も安心するのではないかなというふうに思いますし、その方向性を定める時には、いろんな機会を通じてですね、町民のご意見もお伺いしながら、検討していただければというふうに思うところでございます。

よろしく願いいたします。

議 長（大野君）

町長。

町 長（澁谷君）

色々有難うございました。

今、私、誤解を招いたかもしれませんが、今皆さんが視察に行った会社に決まった、嫌な言い方をしましたけれども、決して決まっておきませんので、何分まず向こうの方が現場は見ていないということでありまして、今岡崎議員質問されたように、校舎のどの部分を使うのか、全部使うのか、体育館を使うのか、それも含めてこれからお話しなきゃいけない部分でございまして、維持費は、私ども使用料を取る気はないのですけれども、例えば雨漏りだとか、壁が剥落してきた時の心配、これは私どもが金かける気ございませんので、その辺の条件提示もこれからしていかなきゃいけないと思っておりますし、ですから、まだ書面交

わしたわけではなく、まず、先程申しましたように、まず向こうが来たいと言ってくれている、それから、その仲介してくれた企業もあるということで、まずそこと交渉を進めていって、駄目になればまた新たに、今岡崎議員が言われたスモールコンセッションものるかもしれませんけれども、まずは、今の会社が来たいと言っている以上、私どもはそこを優先的に交渉を進めていきたいということで答弁申し上げたところでございます。

それで、グラウンドは貸す気はございません。

岡崎議員が今言われたように、あそこをグラウンドに全部、あの町の真ん中に太陽光パネルがあるのはかなわん。

会社では太陽光パネル借りて張りたいっていうことのようにですけども、あそこ全部に太陽光パネル張られたらかなわんと思っていますので、グラウンドは貸す気はございません。

道路から西側部分については、貸せる範囲で貸そうというふうに思っております。

それから、維持管理についても、これからまだまだ相談の余地があると思っておりますし、私が1番懸念しているのは、今岡崎議員が言われた校舎の修理、修繕、これについてどこまで向こうがのんでくれるのか。

うちは金かける気ないので、そこがまず1番ネックになるのかなと思っておると、深川の現場見たところよりもかなり校舎がうち大きいので、多度志中学校よりも倍ぐらいの大きさがあるものですから、それを果たして全部活用できるのかということが出てまいりますし、ただ、部分的にそこを貸したとしても、じゃあ余ったから他の会社ってことにならないでしょうから、それも含めてですね、これからまだまだ交渉の余地は残っているというふうに考えているところでございます。

それから、グラウンドについては、今申しましたように、宅地分譲がいいのか、何か来てくれる気がある、グラウンドとして残すという気は今のところは持っておりません。

そのままになるかもしれませんけれども。

グラウンドにするということは、芝も張らなきゃならないですし、また、排水、暗渠もしなきゃいけないとなってくる時にですね、あそこに、

岡崎議員はそのまま子どもさんが遊んでいる場所がなくなるって言ったけれど、私、あそこで子ども見たことないのですよね。

ですから、もうそこはほとんど、ほとんどあそこのグラウンドは使われていないという認識なものですから。

グラウンドとしては、スポーツセンターあるいは学校のグラウンドを使っただけであればと思っていますので、小さい子の本当に遊び場程度の広場としてはまだ考えないわけではないのですけれども、今のグラウンドをそのまま 300mトラック維持して、フィールドを保ってという考えは、私は今のところ持っておりません。

以上でございます。

議 長（大野君）
岡崎議員。

4 番（岡崎君）

グラウンドに関してはですね、子どもの遊び場というか、私が聞いた範囲の心配されている方のお話では部活動なのですよね。

部活動で今グラウンド使っていることもあるのだけれども、その辺が今後とも、仮に違う学校以外の形になって、あのグラウンドを他のものに使うとなったら、そういう場所がなくなるのじゃないかなというような心配はしてございました。

それらも含めてですね、今後検討していただければというふうに思います。

それと、今現在の建物全部を仮にどこかの企業が入ってきた場合に必要とするのか、しないのかというお話も町長されていましたが、確かにそのとおりだと思います。

それで、私のこの提案でございますけれども、聞き流していただいても構わないのですが、以前お話しました保育所、これがかなり、劣悪というまでは言わないのですけれども、かなり苦勞されて保育をされているような状況がございます、建物が小さいが故にですね。

それで、あそこの中の一部を保育所の形に利用するっていう方法もひ

よっとしたら、全部が使わない場合ですね、あるのじゃないかというふうに思っているところでございます。

その場合には、階段の改修であるとか、トイレの改修であるとか、こういった部分でかなりまたお金がいるかもしれませんが、そんなことも検討の途中で加えていただければなというふうに思うところでございます。

よろしく願いいたします。

議長（大野君）

以上で岡崎議員の質問を終わります。

次に、5番 中西議員の発言を許します。 中西議員。

5番（中西君）

それでは、議長のお許しをいただきましたので、J R留萌線廃線後の通学支援策についてということで質問をさせていただきます。

多くの自治体で出生数が減少している中、秩父別町では、子育て支援や定住促進策をいち早く取り組んだことにより、直近10年を見ると、出生数は概ね横ばいで推移しています。

町内の中学校を卒業した生徒の多くは、深川市、滝川市、または旭川市の高校に進学しています。

通学の際は深川駅で乗り継ぐ必要があり、現在は秩父別町から深川駅までJ Rを利用し、学生割の定期券を購入して通学する生徒が多数を占めています。

令和8年3月のJ R留萌線廃止後は、バス通学へ移行するものと見込まれますが、バス定期券の費用はJ R定期券に比べて大幅に高くなります。

私が調べたところによりますと、秩父別ー深川間のJ R定期券は1ヶ月6,620円ですが、秩父別役場前から深川駅に最も近いバス停までのバス定期券は、12月の値上げ後は1ヶ月18,720円となり、約2.8倍の費用となります。

一方、深川市では、市内の高校に通学する生徒を対象とし、通学距離

が6 km以上でバスを利用する場合、上限年額5万円で、月額5千円を超える部分の3分の1を助成しているということですが、現状のままでは、保護者の経済的負担はこれまで以上に増えてしまうため、何らかの支援や対策が必要だと考えます。

鉄道からバスへの転換を控え、町としてどのような対応を検討しているのか、町長のお考えをお聞かせいただきたいと思います。

議 長（大野君）

町長。

町 長（澁谷君）

中西議員のご質問でございますけれども、今程眞島議員の質問と回答を重複する部分もございますけれども、令和8年3月で留萌本線が廃線となりまして、それに合わせて、高校の通学はJRからバスへと切り替わると予想されております。

現時点におきまして、高校生が通学で利用することになるバスの運行方法、これは先程申しましたように、決まっているわけではありませんので、廃線後のバスの定期券の価格、これをお示しすることはできませんけれども、現在、沼田－深川間を運行している、空知中央バスの定期券を例にとりますと、秩父別役場から深川市立病院までの片道運賃が520円、この間で高校生の通学定期を買った場合は、議員のご指摘のように18,720円でございます。

それに比べて、JRの秩父別－深川区間の高校生の通学用定期券1ヶ月の代金は、来年4月の運賃値上げを考慮してもですね、7,250円でありまして、11,000円ほどの差が生じることとなります。

廃線に合意した時にJR北海道から示された定期券代の差額の補償については、令和7年度、廃線の時の4月に在籍する高校生に限るということでございまして、言ってみれば高校1年生、2年生だけでございまして、高校1年生は2年間、高校2年生の方は3年になるものですから、1年間だけの差額の補償を受けられるということとなります。

それ以降、新しく高校に入る方については、JR北海道の補償の対象

外となりますけれども、これにつきましては、これも同じように、廃線となったどの路線、どの線区についても同じ補償だというふうに伺っているところでございます。

実際に、廃線後の交通体系を確立して、JR北海道が支援する差額補償のルールが確定した段階で、補償とならない生徒に対してもですね、何らかの観点で公平性を保つことから、町が支援をしなきゃいけないだろうというふうには考えております。

いずれにいたしましても、支援策を決定するためには、新たな交通体系、バスの路線のしっかりとした確立が必要でありますことから、もう少し時間をいただきたいというふうに思っておりますし、いずれにしても、高校生のお子さんを持つ家庭にとりまして、少しでも負担を軽減できて、かつ継続的な支援制度が構築できるように検討してまいりますので、ご理解いただきたいと思っておりますけれども、ただ、将来にわたってやるとかなり財政負担が出てまいるのは事実なのですけれども、それも含めて、なるべくどこかで折り合いをつけたいというふうに考えているところでございます。

議 長（大野君）

中西議員。

5 番（中西君）

ご答弁有難うございます。

現在、深川の高校に通っている生徒もそうですが、滝川、旭川に通っている生徒も、部活動を使うとやはり普通電車で帰れないで、特急料金を払って帰ってきたりだとか、バスやJRがないということで、車で迎えに行っている親もいるということでなかなか大変ですし、今度バス転換になった時に、行きは中央バスかもしれませんが、帰りが道北沿岸バスという人も出てくると、やはり定期が今度買えなくなるっていう親も出てくるのかなというのもありますので、そこら辺も。

でも、かといって共通券があればいいのですけれども、多分そういうのが話し合っただけであればいいのですけれども、なかなかバス会社がど

う返事をするかは分かりませんが、そういうのも含めて、もし提案ができるのであれば、交渉の中で提案をしていただきたいとは思いますが。

現在、子どもの中では、やはり滝川や旭川に通っているお子様や寮に入っているお子様もいるということの中で、やはり家計に与える負担が大きいということで、バス転換になれば本当に金額が大きくなってきますので、補助、助成をいただきたいというのは本当の気持ちだと思いますので、できればやはり近隣町村と、今でも助成を出しているところがあると思いますので、そういうところとも検討しながら、秩父別でできる限りの助成をしていただきたいというのが今回の質問の趣旨でございます。

それで、趣旨はちょっとずれてしまうのですが、その検討する中で、確かに先程お金がかかることだという話はお出しておりましたが、廃線までの間に通っている子ども達も、やはり定期券、バス代、JR代でかかっている子達がいるので、1日でも早く検討ができるのであれば、廃線前でも検討をしていただきたいというのが思いでございます。

令和元年だか、私も1回質問して、町長に1回答弁をいただいているので、ここで質問をするのもちょっと気が重いところもあったのですが、でも、子育てをしている、特に高校まで行った親御さんがやはりバスの定期代で相当負担をしているという部分で、この間の町民との懇談会の中でも、やはりそういう声を聞きましたので、あえて質問させていただいておりますので、大変だとは思いますが、なんとか財源を確保していただいて、ご検討いただけたらと思います。

よろしく願いいたします。

議 長（大野君）

町長。

町 長（澁谷君）

前お答えしたように、結局、1回だけとか1年だけならできるのですが、これはずっと永続的にやるとなるとかなりの財政負担が生じ

てくるということで、何の財源もないということがまず1点。

それから、今議員が質問した行きは空知中央で、帰りが道北バスになるということなのですけれども、今、先程眞島議員にお答えした中でですね、走ってくれそうな事業者とはですね、道北バスより遅い便で沼田まで行くバスを何とか確保したいということを考えておりますし、空知中央バスで走ってくれない路線というか、その沼田ー深川間の部分で何とか空知中央バスがその定期で乗れるようにというか、それは町が負担するのか分かりませんが、それを見せれば乗れるようにはしたい。

ただ、道北バスとはなかなかならないかもしれませんが、沼田線については1つの地域で全部乗れるようにはしたいというふうに考えているところでございます。

議 長（大野君）
中西議員。

5 番（中西君）
大変有難うございます。

色々考えていただいて、利便性をというのもあるでしょうし、場合によっては、今、白タク営業みたいな形で、なかなか許可が出ないのかもしれませんが、親御さんがまとめて乗せて帰ってくるという手段も、今後は嵐の吹雪いた日だとかそういう時には、バスが止まる時に今後は想定しなきゃいけないのかなと思うと、そういう時に、みんながみんな車で迎えに行くと大変なことになりますので、誰かがまとめて迎えに行くとかっていう、そういう組織っていうか、そういうのも作って相談をして、そこにお金が発生するかどうか、また後々の話にはなるのですけれども、そういうのも含めて今後協議をしていただけたらと思いますので、すみませんけれども、よろしく願いいたします。

有難うございました。

議 長（大野君）
町長。

町 長（澁谷君）

分かりました。

ただ、吹雪いてバス動けない時は誰も行けないと思うのですけれども、それは別にして、そういったことも含めてですね、例えばそのバスがうまくいかなかった時とかも含めてですね、お子さん方を何とか移動させる方法はですね、町としても音頭はとってまいりますけれども、それが果たして町が組織をつくるべきなのか、あるいは親御さんがつくるべきか、それも含めてですね、町が音頭をとって、とにかく通う方に不便が出ないようなことは講じてまいりたいというふうに考えております。

5 番（中西君）

有難うございます。

議 長（大野君）

以上で中西議員の質問を終わります。

11時10分まで暫時休憩といたします。

休 憩 午前10時59分

再 開 午前11時9分

再開いたします。

（日程第8 承認第3号「専決処分の承認を求めることについて〔令和6年度秩父別町一般会計補正予算（第6号）について〕」

議 長（大野君）

日程第8、承認第3号「専決処分の承認を求めることについて〔令和6年度秩父別町一般会計補正予算（第6号）について〕」を議題といたします。

本件に対して、提案者の説明を求めます。 総務課長。

総務課長（中野君）

別紙議案により説明

議長（大野君）

これより、承認第3号に対しての質疑に入ります。質疑はございませんか。

（ありませんの声）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

お諮りいたします。承認第3号は、原案どおり承認することにご異議ありませんか。

（異議なしの声）

ご異議なしと認めます。

よって、承認第3号は原案どおり承認することに決定いたしました。

（日程第9 議案第52号「秩父別町コミュニティプラザ設置及び管理運営に関する条例の設定について」

議長（大野君）

日程第9、議案第52号「秩父別町コミュニティプラザ設置及び管理運営に関する条例の設定について」を議題とします。

本件に対して、提案者の説明を求めます。 総務課長。

総務課長（中野君）

別紙議案により説明

議長（大野君）

これより、議案第52号に対しての質疑を行います。質疑はございませんか。 金子議員。

2 番（金子君）

ちょっと確認なのですけれども、第12条の但し書き、5号から7号に規

定する施設の使用料は町長が別に定めるということになってはいますが、今のところどこでしたっけ、テナントスペースは信金さんが入るのですけれども、この使用料は指定管理者に入るのでしょうか、町に入るのでしょうか。

議 長（大野君）
総務課長。

総務課長（中野君）

使用料については指定管理者の方で、収入として管理をするということ
です。

議 長（大野君）
金子議員。

2 番（金子君）

そうしたら、使用料に関しては、全て指定管理者に入るということによ
ろしいですね。

議 長（大野君）
総務課長。

総務課長（中野君）

はい、そのとおりでございます。

2 番（金子君）

はい、分かりました。

議 長（大野君）

よろしいですか。他に。 寺迫議員。

6 番（寺迫君）

ちょっと聞き漏らしたのですけれども、使用料先程 500 円と 1,500 円っていうのは言っていたのですが、ちょっとどういった場合がその料金になるか、もう 1 度ちょっと教えていただけますか。

議 長（大野君）

総務課長。

総務課長（中野君）

まず条例の一般の非営利の使用料の場合についてはですね、一般の企業、町内の一般の企業等が使った場合の使用料でございます。

町内会、町民の団体等が使う場合は、減免規定を適用しまして、3分の1の金額で運用してまいりたいというものです。

議 長（大野君）

寺迫議員。

6 番（寺迫君）

一般町民が使う場合は 500 円、非営利で大会議室を使う場合は 500 円ということなのですか。

それで、多目的施設が 1,500 円。違うわ、3分の1だから。多目的施設はいくらになるのかな、これ。350 円

議 長（大野君）

総務課長、もう 1 回説明してください。

総務課長（中野君）

減免後の規定、大会議室で 1 時間当たり 500 円でございます。

多目的室は少しスペースが狭いということで 350 円、1 時間当たり 350 円。

この料金に冬期はプラス 100 円という、上乗せでございます。

議 長（大野君）
寺迫議員。

6 番（寺迫君）
町内の一般企業もそうって言っていましたっけ。

議 長（大野君）
総務課長。

総務課長（中野君）

町内の一般企業等が使用する場合は、条例の金額を適用しますので、1
時間当たり 1,500 円ということになります。

議 長（大野君）
寺迫議員。

6 番（寺迫君）
その使用料も指定管理者のところに収入としてあがるということで、理
解してよろしいでしょうか。

議 長（大野君）
総務課長。

総務課長（中野君）

はい、そのとおりでございます。

6 番（寺迫君）
分かりました。

議 長（大野君）

他に質疑はございませんか。 岡崎議員。

4 番（岡崎君）

すみません、以前に多分説明を受けていると思うのですけれども、ど忘れしてしましまして、全然頭の中に入ってございません。

テナントスペースの信金さんでございませけれども、先程指定管理者の方に使用料をお支払いするというふうにお聞きしましたけれども、できればその金額がですね、夏期はいくら、冬期はいくらなのかっていうことも多分1回は説明を受けていると思うのですけれども、再度お聞きしたいと思えます。

それと、あのコミュニティ施設を作る時に、信金さんが工事費であるとか何とかっていうものについてですね、負担をしているのか、していないのか、その辺も合わせてお聞きしたいです。

議 長（大野君）

総務課長。

総務課長（中野君）

まず信金の使用料については、今後また協議をしてみたい。

基本的には町の行政財産使用料条例がございませるので、それを基に交渉してみたいですが、他の自治体で信金がテナントとして入っている事例もございませるので、それらも参考にしながら、信金が入居する時期に向けて、家賃については協議していきたいと考えております。

それと、今回の工事の中で、信金のスペースの部分は町の工事費の中でみておりますが、その信金のスペースの細かなカウンター的位置ですとか、ATMを設置する費用ですとか、そういったものは信金の方で持っていたくような形になっております。

議 長（大野君）

岡崎議員。

4 番（岡崎君）

建物の建設費に対して、信金さんの負担っていうのはないということですね。

議 長（大野君）

総務課長。

総務課長（中野君）

そのとおりでございます。

議 長（大野君）

よろしいですか。

4 番（岡崎君）

分かりました。

議 長（大野君）

いいですか。 寺迫議員。

6 番（寺迫君）

指定管理者の料金っていうか、支払金額っていうのは3年か5年分で決めるのですけれども、その内容について、生き生き館のように1年間の指定管理料を決めて、そこから収入がある場合は、その指定管理料から引いていますよね。

それで、他の違うところではそういう形じゃなくて、一括で1年なんぼっていうふうに支払っている指定管理のところがあるのですが、この場合はどういった形で考えておられるのでしょうか。

議 長（大野君）

総務課長。

総務課長（中野君）

部屋の使用料等で多少の収益があるかもしれませんが、基本的には施設の維持管理費、電気料、水道料金等々は施設の維持管理にかかるものですので、その収入で賄えないものについては、町の方で全て指定管理料として負担する形になります。

従いまして、年度末にはその実績に応じてですね、精算といいたいまいしょうか、するような形で考えております。

6 番（寺迫君）

分かりました。

議長（大野君）

いいですか。他にありませんか。

（なしの声）

ないようですので、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はございませんか。

（ありませんの声）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

お諮りいたします。議案第 52 号は、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

（異議なしの声）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第 52 号は原案どおり可決いたしました。

（日程第 10 議案第 53 号「秩父別町コミュニティプラザの指定管理者の指定について」）

議長（大野君）

日程第 10、議案第 53 号「秩父別町コミュニティプラザの指定管理者の指定について」を議題といたします。

本件に対して、提案者の説明を求めます。 総務課長。

総務課長（中野君）

別紙議案により説明

議長（大野君）

これより、議案第 53 号に対しての質疑を行います。質疑はございませんか。

（ありませんの声）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はございませんか。

（ありませんの声）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

お諮りいたします。議案第 53 号は、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

（異議なしの声）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第 53 号は、原案どおり可決いたしました。

（日程第 11 議案第 54 号「秩父別町生涯学習センターの指定管理者の指定について」）

議長（大野君）

日程第 11、議案第 54 号「秩父別町生涯学習センターの指定管理者の指定について」を議題といたします。

本件に対して、提案者の説明を求めます。 教育次長。

教育次長（大山君）

別紙議案により説明

議長（大野君）

これより、議案第 54 号に対しての質疑を行います。質疑はございませんか。

（ありませんの声）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はございませんか。

(ありませんの声)

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

お諮りいたします。議案第 54 号は、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

ご異議なしと認めます。

よって、議案第 54 号は、原案どおり可決いたしました。

(日程第 12 議案第 55 号「秩父別町パークゴルフ場の指定管理者の指定について」)

議長 (大野君)

日程第 12、議案第 55 号「秩父別町パークゴルフ場の指定管理者の指定について」を議題といたします。

本件に対して、提案者の説明を求めます。 教育次長。

教育次長 (大山君)

別紙議案により説明

議長 (大野君)

これより、議案第 55 号に対しての質疑を行います。質疑はございませんか。

(ありませんの声)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はございませんか。

(ありませんの声)

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

お諮りいたします。議案第 55 号は、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

ご異議なしと認めます。

よって、議案第 55 号は、原案どおり可決いたしました。

(日程第 13 議案第 56 号「工事請負契約の変更について(秩父別町地域マイクログリッド構築事業第2期工事)」)

議 長 (大野君)

日程第 13、議案第 56 号「工事請負契約の変更について (秩父別町地域マイクログリッド構築事業第 2 期工事)」を議題とします。

本件に対しまして、提案者の説明を求めます。 建設課長。

建設課長 (宮武君)

別紙議案により説明

議 長 (大野君)

これより、議案第 56 号に対しての質疑に入ります。質疑はございませんか。 岡崎議員。

4 番 (岡崎君)

事前にですね、議案の説明を受けた時にも私達の中でちょっと話題になったのですが、ボーリング調査はあそこのエリアの中で何ヶ所くらい事前に行って、杭の長さを当初設定したのかをお聞きしたいと思います。

議 長 (大野君)

建設課長。

建設課長 (宮武君)

陸上競技場ですね、3ヶ所ボーリング調査をしております。以上です。

議 長 (大野君)

よろしいですか。

4 番 (岡崎君)

はい。

議 長（大野君）
他に質疑はございませんか。 金子議員。

2 番（金子君）
その3ヶ所は適切ではなかったということですよね。

議 長（大野君）
建設課長。

建設課長（宮武君）
架台のですね、位置が泥炭地であるということで、3ヶ所調査をしましたが、そこと状況が違う箇所が工事中に出てきたということです。

議 長（大野君）
いいですか。

2 番（金子君）
はい。

議 長（大野君）
他にありませんか。 松永議員。

1 番（松永君）
電気工事の切り替えに対して、今回2日間停電にするということなのですけれども、それは当初予定にはなかったことなのか。
それと、基盤の改造ということは、最初はどのような基盤の予定が、それが変更になって、改造しなきゃいけなくなったのか、その辺の説明もよろしくお願いします。

議 長（大野君）
建設課長。

建設課長（宮武君）

まず1点目、系統連携盤ですけれども、短時間停電で復旧する場合がございます。

それで、今回変更するのは5分の短時間、復旧であれば、自動に復旧するよというふうな変更で、今までは、その前はちょっと落ちただけでも、すぐ電気保安協会が来なきゃいけない、有資格者が上げなければいけないというような状況だったものですから、それで変更させていただきました。

架設の関係については、色々と工事を進めている途中で、いろんな協議がありまして、停電をしなきゃいけないといった時に、最低限の電力が必要な場合が、ゆう&ゆの場合は冷凍と冷蔵庫があったということで、計上させていただきました。以上です。

議 長（大野君）

いいですか。

1 番（松永君）

はい、分かりました。

議 長（大野君）

松永議員。

1 番（松永君）

当初計画ではやっぱり分からなかったということの理解でよろしいでしょうか。

議 長（大野君）

建設課長。

建設課長（宮武君）

当初でどれだけの電力が必要かというふうなところまで、みていなかった

たということです。

議 長（大野君）
よろしいですか。

1 番（松永君）
はい、分かりました。

議 長（大野君）
他に質疑はないようですので、これで質疑を終わります。
これより討論を行います。討論はございませんか。
（ありませんの声）
討論なしと認めます。これで討論を終わります。
お諮りいたします。議案第 56 号は、原案どおり決定することにご異議あり
りませんか。
（異議なしの声）
ご異議なしと認めます。
よって、議案第 56 号は、原案どおり可決いたしました。

（日程第 14 議案第 57 号「令和 6 年度秩父別町一般会計補正予算（第 7 号）について」）

議 長（大野君）
日程第 14、議案第 57 号「令和 6 年度秩父別町一般会計補正予算（第 7
号）について」を議題といたします。
本件に対して、提案者の説明を求めます。 総務課長。

総務課長（中野君）
別紙議案により説明

議 長（大野君）
これより、議案第 57 号に対しての質疑を行います。質疑はございませ
んか。 岡崎議員。

4 番（岡崎君）

14 ページの農林水産業費、水田農業推進費ですか、土地改良区決済金等支援金、661万3千円となつてございますけれども、面積はどのくらいなのか、それをお聞きしたいと思います。

議 長（大野君）
産業課長。

産業課長（笹木君）
424.28 a となっております。

議 長（大野君）
もう1度言ってください。

産業課長（笹木君）
424.28 a です。

議 長（大野君）
よろしいですか。

4 番（岡崎君）
はい。

議 長（大野君）
他に。 松永議員。

1 番（松永君）
関連する事項ですけれども、水田の畑地化ということで、今改良区で事務やっています活動組織、前の農地水の事業に対して、国が半分、道4分の1、町が4分の1と出していますけれども、そこの算定の金額も変わる

のでしょうか。

議 長（大野君）
産業課長。

産業課長（笹木君）
畑になれば算定も変わってきます。

議 長（大野君）
松永議員。

1 番（松永君）
確かこの畑地化の事業は、国の制度としては地目変更は求めないというお話だったと思うのですけれども、あくまで畑地化しても地目は水田のままということにはならないのでしょうか。

議 長（大野君）
産業課長。

産業課長（笹木君）
地目変更を伴わないので、田であるというものは、そのまま畑地化になっても田のままです。

1 番（松永君）
よろしいですか。最初の答えだと、畑になるので、単価変わるというような話だったのですけれども、2回目の時には水田のままという話だったのですが。

議 長（大野君）
産業課長。

産業課長（笹木君）

すみません、ちょっと私の答弁が、勘違いしております、田では変わりはないので、そのまま継続ということになるかと思えます。

1 番（松永君）

分かりました。

議長（大野君）

いいですか。他に。 金子議員。

2 番（金子君）

ちょっと参考までにお聞きしますが、今回ふるさと納税について補正をいただいているのですけれども、何か先程の全員協議会でも、町長の方から、トマトジュースの生産量が足りないというお話がありましたけれども、そのふるさと納税に対する影響っていうものはありますか。

議長（大野君）

企画課長。

企画課長（北垣君）

トマトジュースの生産量が少ないことによりまして、令和6年産のトマトジュース、まずこれをふるさと納税の方にまだ載せていないという状況となっております。

その部分の多分影響が若干出てくるのかなと今後思っております。以上です。

議長（大野君）

よろしいですか。

2 番（金子君）

分かりました。

議 長（大野君）
他に。 藤岡議員。

8 番（藤岡君）

ちょっと2点程教えていただきたいのですが、ページはですね、11ページの17節、コミュニティ施設新築されるのですが、中の備品等の購入の金額だよという説明がありましたが、現状の椅子・テーブル等使えるものたくさんあると思いますが、これの、何て言うのでしょうか、新しいところに持って行って使うとかって言うのは、どこか事前に説明あったのかもしれないですけども、その辺の再利用というのですか、そういう部分も含めて教えていただきたいのと、14ページの18節、ごめんなさい、環境衛生費の中の18節ですね、北空知衛生センター組合の負担金の金額が説明されましたが、この金額の内訳と言いますか、1市4町のそれぞれの金額が、何でしょうか、金額の設定根拠があると思うのですが、人数割とか面積割とか利用割とかあると思うのですが、その辺を教えていただきたいと思います。

議 長（大野君）
総務課長。

総務課長（中野君）

私の方からコミュニティ施設の備品の関係で、お答えをさせていただきます。

使える備品等につきましては、当然今の商工会館の備品の使用状況等を見まして、椅子、2階の椅子等はまだ使用が可能ということで、今回の購入費用に入っていませんが、その他のテーブル等についてはですね、現況汚れ等もあるというようなことで、今回は新たに購入するような予算を計上させていただいています。

議 長（大野君）
町長。

町 長（澁谷君）

今商工会の備品についてはですね、使えるところは使うということで、かなり絞ったのと、数は最小限の数で積算をしたと思っております。

それから、衛生センターは今朝ほどお話しした修繕料の部分なのですが、積算割合ってというのは、当初の深川がなんぼ、うちがなんぼの割合で全部で7,600万の金を割り返したということでございます。

議 長（大野君）

いいですか。 藤岡議員。

8 番（藤岡君）

有難うございます。

コミュニティセンターの関係ですけれども、使えるものは使うということは大変いいことだなと思いますが、使わない分の処分っていいですか、その辺はどのように考えられていますか。

議 長（中野君）

総務課長。

総務課長（中野君）

現在の商工会館の備品の取り扱いということでよろしいのでしょうか。

使えるものは新しい施設で使いますし、使わないものは、役場等公共施設で使えるものは使っていきたいと思えますし、それ以外のものについては基本的には処分をしまいたします。

8 番（藤岡君）

よく何て言うのでしょうか、使わないので競売にかけるとかっていう事例もよく聞くので、そういう部分はあるのかなということちょっとお聞きしました。

有難うございます。

議 長（大野君）
答弁求めます、それ。いいですか。

8 番（藤岡君）
はい。

議 長（大野君）
他にありますか。
（なしの声）
ないようですので、これで質疑を終わります。
これより討論を行います。討論はございませんか。
（ありませんの声）
討論なしと認めます。これで討論を終わります。
お諮りいたします。議案第 57 号は、原案どおり決定することにご異議ありませんか。
（異議なしの声）
ご異議なしと認めます。
よって、議案第 57 号は、原案どおり可決いたしました。

（日程第 15 議案第 58 号「令和6年度秩父別町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について」）

議 長（大野君）
日程第 15、議案第 58 号「令和 6 年度秩父別町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）について」を議題といたします。
本件に対しまして、提案者の説明を求めます。 住民課長。

住民課長（塩地君）
別紙議案により説明

議 長（大野君）
これより、議案第 58 号に対しての質疑を行います。質疑はございません

か。

(ありませんの声)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はございませんか。

(ありませんの声)

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

お諮りいたします。議案第 58 号は、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

ご異議なしと認めます。

よって、議案第 58 号は原案どおり可決いたしました。

(日程第 16 議案第 59 号「令和6年度秩父別町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について」)

議 長 (大野君)

日程第 16、議案第 59 号「令和 6 年度秩父別町後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号)について」を議題といたします。

本件に対しまして、提案者の説明を求めます。 住民課長。

住民課長 (塩地君)

別紙議案により説明

議 長 (大野君)

これより、議案第 59 号に対しての質疑を行います。質疑はございませんか。

(ありませんの声)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はございませんか。

(ありませんの声)

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

お諮りいたします。議案第 59 号は、原案どおり決定することにご異議あ

りませんか。

(異議なしの声)

ご異議なしと認めます。

よって、議案第 59 号は原案どおり可決いたしました。

(日程第 17 議案第 60 号「秩父別町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の設定について」)

(日程第 18 議案第 61 号「秩父別町第 1 号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の設定について」)

(日程第 19 議案第 62 号「秩父別町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の設定について」)

(日程第 20 議案第 63 号「職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の設定について」)

議 長 (大野君)

日程第 17、議案第 60 号「秩父別町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の設定について」、

日程第 18、議案第 61 号「秩父別町第 1 号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の設定について」、

日程第 19、議案第 62 号「秩父別町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の設定について」、

日程第 20、議案第 63 号「職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の設定について」の 4 件を一括議題といたします。

本件に対して、提案者の説明を求めます。 総務課長。

総務課長 (中野君)

別紙議案により説明

議 長 (大野君)

これより、議案第 60 号から議案第 63 号に対しての質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はございませんか。

(ありませんの声)

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

お諮りいたします。議案第 60 号は、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

ご異議なしと認めます。

よって、議案第 60 号は、原案どおり可決いたしました。

お諮りいたします。議案第 61 号は、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

ご異議なしと認めます。

よって、議案第 61 号は、原案どおり可決いたしました。

お諮りいたします。議案第 62 号は、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

ご異議なしと認めます。

よって、議案第 62 号は、原案どおり可決いたしました。

お諮りいたします。議案第 63 号は、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

ご異議なしと認めます。

よって、議案第 63 号は、原案どおり可決いたしました。

(日程第 21 議案第 64 号「令和 6 年度秩父別町一般会計補正予算(第 8 号)について」)

議長(大野君)

日程第 21、議案第 64 号「令和 6 年度秩父別町一般会計補正予算(第 8 号)について」を議題とします。

本件に対して、提案者の説明を求めます。総務課長。

総務課長（中野君）

別紙議案により説明

議長（大野君）

これより、議案第 64 号に対しての質疑を行います。質疑はございませんか。

（ありませんの声）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はございませんか。

（ありませんの声）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

お諮りいたします。議案第 64 号は、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

（異議なしの声）

ご異議なしと認めます。

よって、議案第 64 号は原案どおり可決いたしました。

（日程第 22 議案第 65 号「令和 6 年度秩父別町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）について」）

議長（大野君）

日程第 22、議案第 65 号「令和 6 年度秩父別町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）について」を議題とします。

本件に対しまして、提案者の説明を求めます。 住民課長。

住民課長（塩地君）

別紙議案により説明

議長（大野君）

これより、議案第 65 号に対しての質疑を行います。質疑はございませんか。

(ありませんの声)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はございませんか。

(ありませんの声)

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

お諮りいたします。議案第 65 号は、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

ご異議なしと認めます。

よって、議案第 65 号は原案どおり可決いたしました。

(日程第 23 議案第 66 号「令和6年度秩父別町農業集落排水事業会計補正予算(第1号)について」)

議 長 (大野君)

日程第 23、議案第 66 号「令和 6 年度秩父別町農業集落排水事業会計補正予算(第 1 号)について」を議題とします。

本件に対して、提案者の説明を求めます。 建設課長。

建設課長 (宮武君)

別紙議案により説明

議 長 (大野君)

これより、議案第 66 号に対しての質疑を行います。質疑はございませんか。

(ありませんの声)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はございませんか。

(ありませんの声)

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

お諮りいたします。議案第 66 号は、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)
ご異議なしと認めます。
よって、議案第 66 号は原案どおり可決いたしました。

(日程第 24 議案第 67 号「令和6年度秩父別町簡易水道事業会計補正予算(第1号)について」)

議 長 (大野君)

日程第 24、議案第 67 号「令和 6 年度秩父別町簡易水道事業会計補正予算(第 1 号)について」を議題とします。

本件に対しまして、提案者の説明を求めます。 建設課長。

建設課長 (宮武君)

別紙議案により説明

議 長 (大野君)

これより、議案第 67 号に対しての質疑を行います。質疑はございませんか。

(なしの声)
質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。
これより討論を行います。討論はございませんか。

(ありませんの声)
討論なしと認めます。これで討論を終わります。
お諮りいたします。議案第 67 号は、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)
ご異議なしと認めます。
よって、議案第 67 号は原案どおり可決いたしました。

(日程第 25 発議第2号「秩父別町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の設定について」)

議 長 (大野君)

日程第 25、発議第 2 号「秩父別町議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例の設定について」を議題とします。

本件は議会発議であります。

改正趣旨については、皆さん承知だと思いますので、趣旨説明、質疑、討論を省略したいと思います。

これにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

ご異議なしと認めます。

よって、発議第 2 号は、趣旨説明、質疑、討論を省略することに決定いたしました。

お諮りいたします。発議第 2 号は、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

ご異議なしと認めます。

よって、発議第 2 号は原案どおり可決いたしました。

(日程第 26 所管事務調査の申し出について)

議 長 (大野君)

日程第 26、所管事務調査の申し出についてを議題とします。

事務局長に朗読させます。

事務局長 (成瀬君)

別紙により朗読

議 長 (大野君)

委員会の所管事務調査の申し出について、ご意見はございませんか。

(ありませんの声)

ご意見がないようですのでお諮りいたします。所管事務調査は申し出のとおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

ご異議なしと認めます。

よって、所管事務調査は申し出のとおり決定いたしました。

(閉会宣言)

議 長（大野君）

お諮りいたします。今期定例会に付議されました事件の審議は全て終了いたしました。これをもって閉会したいと思います。これにご異議ありませんか。

（異議なしの声）

ご異議なしと認めます。

よって、今期定例会は以上で閉会することに決定いたしました。

以上で本日の会議を閉じます。

令和6年第4回秩父別町議会定例会を閉会します。

ご苦労様でした。

閉 会 午後0時28分